

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第3部門第2区分

【発行日】平成22年11月4日(2010.11.4)

【公表番号】特表2007-534615(P2007-534615A)

【公表日】平成19年11月29日(2007.11.29)

【年通号数】公開・登録公報2007-046

【出願番号】特願2006-517744(P2006-517744)

【国際特許分類】

C 0 7 K 19/00 (2006.01)

C 0 7 K 14/155 (2006.01)

C 0 7 K 14/73 (2006.01)

C 0 7 K 16/28 (2006.01)

C 0 7 K 16/10 (2006.01)

C 1 2 P 21/08 (2006.01)

C 1 2 N 5/10 (2006.01)

C 0 7 K 14/435 (2006.01)

C 1 2 N 15/09 (2006.01)

A 6 1 K 39/00 (2006.01)

A 6 1 K 39/39 (2006.01)

A 6 1 P 31/18 (2006.01)

A 6 1 K 38/00 (2006.01)

G 0 1 N 33/569 (2006.01)

【F I】

C 0 7 K 19/00 Z N A

C 0 7 K 14/155

C 0 7 K 14/73

C 0 7 K 16/28

C 0 7 K 16/10

C 1 2 P 21/08

C 1 2 N 5/00 B

C 0 7 K 14/435

C 1 2 N 15/00 A

A 6 1 K 39/00 Z

A 6 1 K 39/39

A 6 1 P 31/18

A 6 1 K 37/02

G 0 1 N 33/569 H

【誤訳訂正書】

【提出日】平成22年9月16日(2010.9.16)

【誤訳訂正1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0030

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【0030】

(実施例6)

この実施例においては、我々は、gp120及びCD4のフラグメントの複合体が免疫原性であり、HIV-1中和抗体を誘導することを証明した。特に、gp120の結合に必要である、CD4の

最初の2個のドメインのみを含むCD4の断片がクローニングされ、チャイニーズハムスター卵巣（CHO）細胞中で発現された。図8は、sCD4（SCD4として示される）及びCD4との対比における、このCD4（DID2として示される）の断片の略図を示す。CD4の断片は、CD4の第3及び第4のドメインを含まない。

次いで、CHO細胞の上清から、DID2断片を均一に精製した。精製されたDID2断片はgp120と複合化されることがわかり、該複合体は、ウサギ中で抗HIV-1応答を誘導した。DID2の調製、DID2の免疫学的反応性及びgp120-DID2複合体の免疫原性については以下の詳細に議論する。